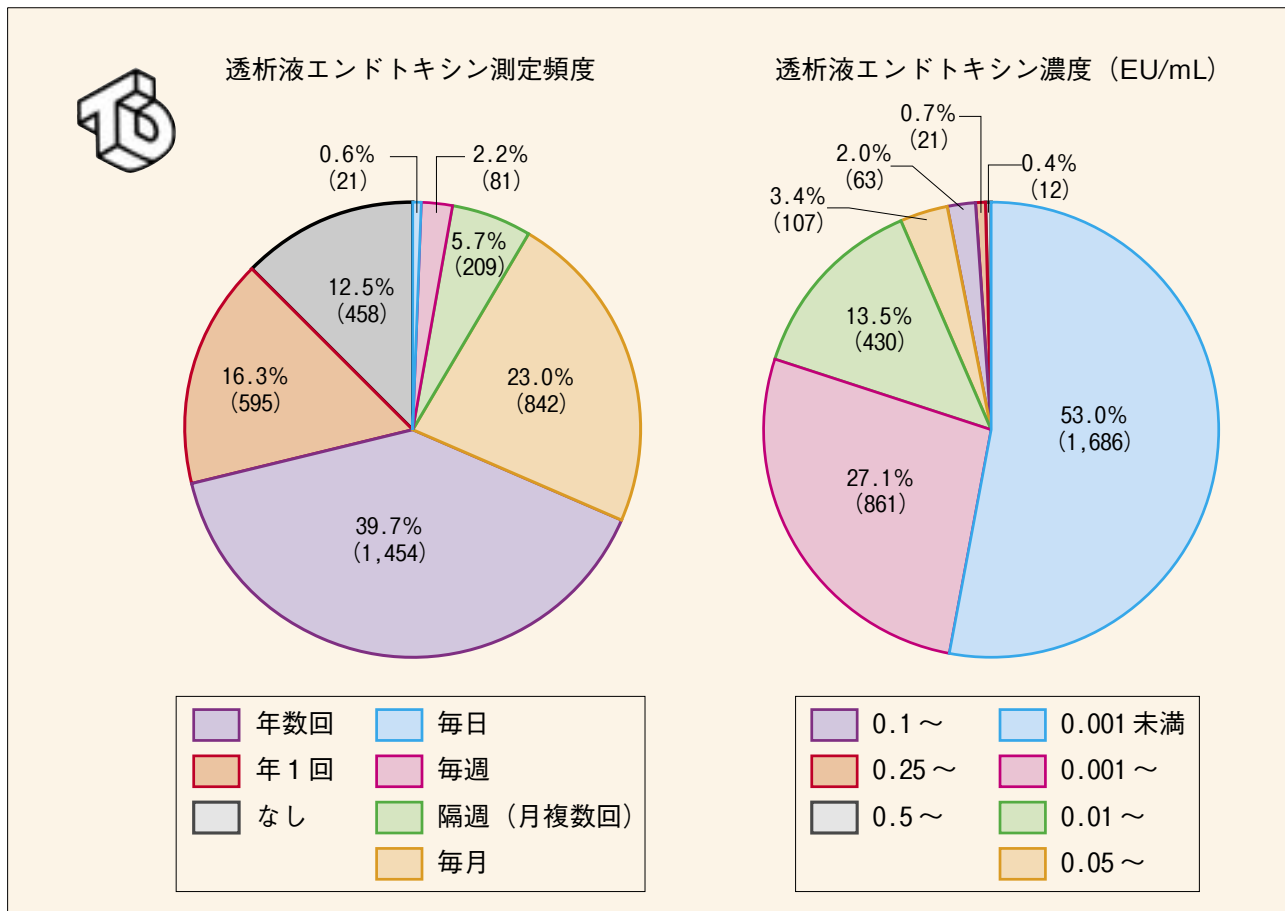


1) 透析液水質管理状況

(1) 透析液エンドトキシン検査 (図表22)



透析液エンドトキシン測定頻度	毎日	毎週	隔週(月複数回)	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
施設数	21	81	209	842	1,454	595	458	3,660	208	182	4,050
頻度 (%)	0.6	2.2	5.7	23.0	39.7	16.3	12.5	100.0			

透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	0.001未満	0.001~	0.01~	0.05~	0.1~	0.25~	0.5~	合計	不明	記載なし	総計
施設数	1,686	861	430	107	63	21	12	3,180	212	658	4,050
頻度 (%)	53.0	27.1	13.5	3.4	2.0	0.7	0.4	100.0			

施設調査による集計

解説

透析液のエンドトキシン濃度測定について、3,660施設から回答があった。回答施設の87.5%においてエンドトキシン測定が行われており、2006年末より5%増加している。日本透析医学会の水質管理基準では透析液のエンドトキシン濃度の測定は月1回以上を推奨しているが、月1回以上の測定は31.5%の施設で行われているのみであり、月1回以上測定する施設数の増加が期待される。

透析液エンドトキシン濃度は3,180施設から回答があった。日本透析医学会の水質管理基準は0.05EU/mL未満であり、93.6%の施設で達成されており昨年より約5%増加している。超純粋透析液を担保する0.001EU/mL未満は53.0%で達成されており、昨年の29.8%より格段に清浄度が高まった。

注：透析液エンドトキシン濃度は昨年の現況報告ではEU/Lで表記されていたが、2008年に発表された日本透析医学会の透析液水質管理基準で、世界的な表記の統一を視野に入れEU/mLの表記に変更した。